

比乙様式1 学位申請書の記入要領

平成 年 月 日

九州大学総長 殿

本 籍 注1

氏 名 印

学 位 申 請 書 注2

貴学学位規則第16条により、博士の学位を受けたいので、下記のとおり
関係書類を添え、学位論文を提出いたします。

なお所定の手数料を納入いたします。

記

1	主論文	1編	冊	2通	} 注3
2	参考論文	編	冊	1通	
3	論文目録				
4	論文要旨				
5	履歴書				

注1. 本 籍
→ 都道府県名（外国人は国籍（国名））のみを記入する。
国名は、外国人登録証にある国名を原則とする。

注2. 氏 名
→履歴書記載の氏名（原則、戸籍簿どおり）と照合する。
外国人の場合、カタカナ表記（漢字圏の学生は漢字）で記入する。
※ 氏名の順番等は、パスポートや外国人登録証と照合し、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。
※ 印鑑は、履歴書と同一のものを押印する（外国人の場合は、サインも可）。

注3. 主論文 1編 1冊 2通 ←（規則で確定された項目）
参考論文 編 1冊 1通 ←（編数は提出に合わせて記入する）
*参考論文を添付しない場合は、消線を付すこと。 （例）参考論文——編 1冊——1通

比乙様式2「論文目録」、比乙様式3「論文要旨」の作成にかかる留意事項

1. 「論文目録」及び「論文要旨」は、本様式により、A4判用紙にワープロ浄書のこと。
2. 以下の①～④に記載する「論文名」はすべて一致させること。
 - ① 論文の「表紙」・「裏表紙」
 - ② 論文目録
 - ③ 論文の内容の要旨
 - ④ 論文審査結果の要旨
3. 論文名は、本文と同じ言語によるものとし、英語の場合は、和訳をカッコ書きで付記すること。
4. 英語の場合は、字体・文字の大小（大文字・小文字）についても統一させること。

(例)

 - (a) Molecular Analyses of Early Embryogenesis in ～
 - (b) Molecular analyses of early embryogenesis in ～
 - (c) MOLECULAR ANALYSES OF EARLY EMBRYOGENESIS IN ～例えば (a) にする場合は、①～④全て (a) に統一する。
5. 氏名も同様に統一すること。（①～④）

(例) ○高橋 ⇔ 高橋
○齋藤 ⇔ 斉藤
前者の場合は全て前者に統一する。（略さない）

比乙様式2 論文目録の記入要領

記載例

論 文 目 録	
	区 分 乙
氏 名	○○○○ 注1
主論文 1編 1冊	
題 名	○○○○・・・・ 注2
大部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (平成○○年○月○○日) に公表済 : : 残部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) 掲載サイト○○ http://○○○ (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) : に公表予定	
参考論文 ○編 ○冊	
題 名	
1. ○○○○・・・・	○○雑誌 第○巻 第○号 (平成○○年○月○○日) 共著者○○○○
2. ○○○○・・・・	掲載サイト○○ http://○○○ (平成○○年○月○○日) 共著者○○○○

注3

注1 履歴書記載の氏名と照合する。外国人の場合、カタカナ表記（漢字圏の学生は漢字）で記入する。
※氏名の順番等は、パスポートや外国人登録証と照合、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。

注2 主論文等の題名と照合する。外国語の場合、字体・文字の大小について統一させ、和訳を（ ）カッコ書きで付記する。

注3 主論文・参考論文ともに公表年月順に、列記する。

1) 未公表の論文の場合は、公表の「方法」「時期」、「原稿枚数」を記入する。※
公表または公表予定がない場合、投稿予定を記載する。

なお、公表予定を記載する場合は、公表時期が決まり次第連絡すること。

2) 参考論文を添付しない場合は、「なし」と記入すること。

3) 参考論文がインターネット上のみで公表されるものを記載する場合は、「掲載されるサイトの名称」「URL」「公表の時期」「共著者名」を記載すること。

※ 参考「学位規則第24条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。」

比乙様式6 「履歴書」作成に係る留意事項

氏名

- 1) 学位記へ表記する氏名とするため、戸籍簿どおりの氏名を記載する。
※旧姓使用については、大学としての取扱いを検討中。
- 2) PC・ワープロ等で出力されない異体字等が含まれる場合は、氏名を手書きで記載する。
- 3) 外国人氏名については、**カタカナ・アルファベット・漢字（漢字圏の学生のみ）**を記載する。
(氏名の順番等は、パスポートや外国人登録証と照合、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。)

(例)

①中国・韓国等（漢字表記）の方	②欧米等（アルファベット表記）の方
ホァンツ ウェイ (カタカナ)	モハメッド アブドゥル マジード (カタカナ)
黄 志 偉 (漢字)	Mohammed Abdul Mazeed (アルファベット)
Hyang Chih Wei (アルファベット)	

生年月日

→ 「和暦」及び「西暦」を記載する。例：昭和51（1976）年1月1日

本籍（都道府県）

- 都道府県名（外国人は国籍（国名））のみを記載する。
国名は、外国人登録証にある国名を原則とする。
中華人民共和国→「中国」、大韓民国→「韓国」、台湾→「中国（台湾）」等

現住所

- 住民票に記載されている住所を（郵便番号）及び都道府県名から記載する。
郵便番号、団地名、宿舍名、番号等を正確に記載すること。また、提出後変更があった場合は、速やかに届け出ること。

学歴

- 1) 新制大学卒業以後または最終学歴から、年月日の順を追って正確に記載すること。
- 2) 入学・修了等の年月日に合わせて、大学・学部・学科名、大学院・専攻・修士課程・博士課程・博士後期課程の別を記載する。
- 3) 本学における大学院入学・進学の違いに注意する。（→様式1-1の説明を参照。）
在籍中の場合は、「現在に至る」とし、中途退学は「退学」、単位修得の上退学は「単位修得退学」と記載する。
- 4) 本学大学院研究科の再編時期について、以下、注意すること。
昭和60年度入学者（～S61.3.31）まで「医学研究科」、それ以降は「医学系研究科」
平成11年度入学者（～H12.3.31）まで「研究科」、それ以降は「学府」
- 5) 研究生歴は学歴に含めない（研究歴に含める）。

職歴

- 1) 年月日の順を追って、採用・退職等を記載する。
在職中の場合は、最後に「現在に至る」を記載する。
- 2) 常勤の職について記入する。
但し、非常勤の職であっても、特に研究に関するものについては記載できる。
- 3) 職歴がない場合は、「なし」と記載する。
- 4) 日本学術振興会特別研究員の採用期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。
- 5) 在職中の会社や組織の名称変更がある場合は、以下のように記載する。
- (例) 「△△会社 (旧名××会社 平成●年●月●日社名変更)」
「××会社 (平成●年●月●日△△会社に名称変更) 等
- ※「九州大学医学部・歯学部・生体防御医学研究所附属病院 (呼称：九州大学病院)」の名称は、平成15年10月から使用。

研究歴

- 1) 研究した事項とその期間を明記すること。学歴又は職歴に記載した期間中に研究歴に当たるものがある場合は、それについても記入すること。
- 2) 修士課程の期間から研究歴に含めることができるが、学部は含めない。
但し、研究生の期間を含めることができる。その際、「研究生として」を必ず記載する。
- 3) 同一研究歴が複数の組織にまたがる場合は、組織名を「及び」で結んでまとめて記載しても良い。
(例) 九州大学大学院工学府および日立製作所中央研究所において、△△△に関する研究
- 4) 研究継続中の場合は、「現在まで」と記載する。
- 5) RA (リサーチアシスタント) は研究歴に含めることもあるが、在籍中の雇用については、研究歴に含める必要がない。(TA は研究と関係ないので含めない。)
- 6) 個人的に研究室にて指導を受けた場合については、研究歴に含むことができない。(研究生として在籍すべき)

比乙様式6 履歴書の記入要領

記載例

*区分及び性別は、いずれかに
○印を付してください。

履 歴 書	
	区 分 乙
ふりがな 氏 名 生年月日	<p>*戸籍簿（外国人登録・パスポート）どおりの氏名を記載する。 *外国人氏名の場合、カタカナ・アルファベット・漢字で記載する。 (例) ホアンツ ウエイ モハメッド アブドウル マジード 黄 志 偉 Mohammed Abdul Mazeed Hyang Chih Wei *生年月日 和暦及び西暦で記載する。</p>
男 女	○
本 籍 (都道府県名)	<p>*都道府県名のみを記載 *外国人の場合は、国名を記載する。(外国人登録証にある国名等)</p>
現 住 所	〒□□□-□□□□ *正確な住所を記載する。
学 歴	<p>平成 14 年 3 月 25 日 九州大学△学部卒業 平成 14 年 4 月 1 日 九州大学大学院△学府△△専攻修士課程入学 平成 16 年 3 月 25 日 同 上 同 上 修了 平成 19 年 4 月 1 日 九州大学大学院○学府○○専攻博士後期課程編入学 現在に至る</p> <p>新制大学卒業または最終学歴から順に記載する。(前歴は不要)</p> <p>*九州大学における大学院入学・進学の区分に注意。 *平成 11 年度入学者まで「研究科」、平成 12 年度以降「学府」と記載する。 *中途退学＝「退学」、単位修得の上退学＝「単位修得退学」と記載する。 *<u>研究生歴は学歴に記入しない</u> (研究歴に含める)。</p>
年 月 日 を 記 入 す る	
職 歴	<p>平成 16 年 4 月 1 日 ××株式会社 採用 平成 17 年 4 月 1 日 ◎◎株式会社(旧名××会社 平成 16 年 10 月 1 日社名変更) ○○研究所 配置換 平成 18 年 3 月 31 日 同 上 退職 平成 20 年 4 月 1 日 日本学術振興会特別研究員採用 現在に至る</p> <p>*日本学術振興会特別研究員の期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。</p>
研 究 歴	<p>平成 14 年 4 月 1 日 } 九州大学大学院△学府において、○○について研究 平成 16 年 3 月 25 日 } 平成 17 年 4 月 1 日 } ◎◎株式会社○○研究所において、○○について研究 平成 18 年 3 月 31 日 } 平成 18 年 4 月 1 日 } 九州大学大学院○学府において、研究生として○○について研究 平成 19 年 3 月 31 日 } 平成 19 年 4 月 1 日 } 九州大学大学院○学府において、○○について研究 現在まで } 上記のとおり相違ありません。 平成 21 年 2 月 15 日</p> <p>*研究した事項とその期間を明記する。 *学歴及び職歴に記載した期間中に研究歴に該当する場合は記載する。</p>
氏 名 ○ ○ 印	

学位記表記文字等について

<p><学位記及び和文証明書用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人・漢字圏の学生名の場合→漢字表記 ・漢字圏以外の学生名の場合→カタカナ表記 ・外国人留学生の場合は、姓名の区切りに斜線を記入する 	<p>高橋 太郎 (日本人学生)</p> <p>华 / 雪峰 (留学生)</p>
<p><英文証明書用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文表記、活字体で記入する ・パスポート、在留カード等に従う 	<p>Taro Takahashi (日本人学生)</p> <p>Hua Xuefeng (留学生)</p>
<p><フリガナ></p>	<p>タカハシ タロウ (日本人学生)</p> <p>カ セツホウ (留学生)</p>
<p>授与決定通知 送付先住所</p>	<p>〒XXX-XXXX 福岡市東区箱崎〇-〇-〇</p> <p>【学内への発送希望の場合】</p> <p><学内便></p> <p>九州大学〇学部1号館〇階</p> <p>〇〇〇〇学研究室</p>

*各項目を正確に漏れなく記載のうえ、提出願います。

*和文証明書用の氏名は、学位台帳に記載します。

*氏名にPC・ワープロ等で出力されない異体字等が含まれる場合は、手書きで記載願います。

*英文証明書用の氏名は、日本人学生については名→姓の順番で頭文字のみ大文字に統一します。

例) 九大 太郎 → Taro Kyudai

*授与決定通知は、学位授与が決定次第、上記記載住所に送付します。

(海外の場合は、申請学府へ通知)